

すみれ通信

1月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第127号)

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

TEL 0466-41-9980

FAX 0466-41-9981

✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

**あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願い致します。**

2026年(令和8年)は、60年に一度めぐってくる丙午の年です。「丙午の年に生まれた女性は気性が荒く、夫の寿命を縮める」という日本独自の迷信があり、その影響で過去には女兒の出産を避ける動きが見られ、出生率が減少しました。1966年(昭和41年)はその傾向が一層強まり、出生率は前年比でおよそ25%も落ち込みました。現代日本では、女性の社会進出や多様な価値観が定着していることから、丙午の年に出生率が大きく下がるような事態は想定されにくくなっていますが、年々減少している出生数、今年はどうなるのでしょうか。

**令和7年度市民公開講座の報告**

【日 時】 令和7年11月9日(日) 10:00~11:30

【場 所】 藤沢市善行市民センターバイオクロマトホール

【テーマ】「まだ早い」と思った瞬間が始めどき!

わたしの人生設計最終章デザイン

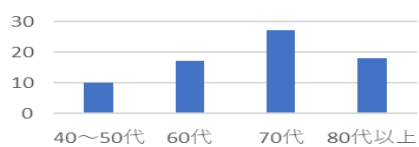
～やさしく学ぶ人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)～

【参加者】79名 スタッフ9名 計88名

【参加者状況】



参加者の年代別人数



【アンケート内容抜粋】(回収数 72 回収率 91.1%)

- ・日常的に家族や親しい人と話題にすることが大切と感じた
- ・もしもではなく、必ず起きると考え直した 自分で決めるしかないと再認識した
- ・健康、自立していれば何とかなるだろうと思っていた事が、違うんだと目からうろこでした
- ・まず、自分一人で考える 繰り返し考える 考えたことを共有する
- ・エンディングノートは書き残しておけばOKと思っていたが、繰り返し思いを書いておくこと、サポートしてくれる方との話し合いが必要であることが分かった
- ・これまでも考えたことはあったが、今日ACPについてあらためて気づかされたことが多く、大変参考になりました

**在宅医療の現場から**

のぐち江ノ島クリニック 野口 正徳

新年あけましておめでとうございます。

藤沢市片瀬でのぐち江ノ島クリニックを開業しております野口正徳です。

各医療や介護関連の方々にはいつもご協力頂き大変お世話になっております。

私が勤務医をしていた頃二十数年前まで遡りますが、当時は丁度高齢者の長期入院に制約が付けられ始めた時期で、訪問診療という言葉もなく往診にて患者さんを診させて頂いていたちょうど介護保険ができる前後の過渡期でした。当時は疾患を治療しても、ご家族の受け入れ体制が無ければ老人病院やホームなどへの転院の形をとっておりました。又ご自宅での介護を希望されるご家族にとっても介護保険の仕組みもわからず誰の手も借りずご家族が介護されていたのを思い出します。

高祖父からの医師家系で幼少の頃から父の往診について行ったこともあり、普通の医療の範囲で患者さんを家に帰すお手伝いができないかと考えに至り、在宅医療に開業当時から力を入れて参りました。ただやはり医師が出来る事の限界を痛切に感じさせられる事が多く、本当に介護保険関連の方々に助けていただき日々感謝をしております。これからも医療、介護の連携を密にしてお互いに顔が見えるだけでなく、タッグを組んで活動を続けられればと考えております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

R7年度 第3回在宅医療・介護連携多職種研修会ご案内**在宅で療養されている高齢者の
急変時の対応について考える**

日時: 令和8年1月22日(木) 19:00~20:30

場所: 藤沢市医師会館 2階ホール

内容: 救急隊の方から救急対応の実情についてお話し
いただき、在宅で療養されている高齢者の急変時の対応における課題について考えます

